

研究に関するお知らせ

【研究課題名】

CT ストレイン解析による陳旧性心筋梗塞における左室壁運動異常の検出能および MRI タギングとの検出比較試験

【研究の概要と目的】

心筋の壁運動の評価は臨床的に重要であり、近年は心筋線維のねじれを評価するストレイン解析が重要と考えられている。これまでは心臓 CT にて心筋ストレインを解析することは困難であったがザイオ社の新しいアルゴリズムにより CT データからストレイン解析を行うことが可能となった。

本研究の目的は、陳旧性心筋梗塞症例を対象として造影 CT と CMR を撮像し、CT ストレイン解析による左室壁運動異常の検出能、および CMR タギング法によるストレイン解析との検出比較を行うことである。本研究において CT ストレイン解析の有用性が確立されれば、造影 CT 検査による壁運動評価法の普及が進み、これまでの CT 検査に情報を付加できるようになる。

【本研究の対象・方法】

陳旧性心筋梗塞の患者様で、造影 CT による冠動脈の狭窄評価が予定されている方。かつ、造影 MRI（遅延造影）を用いた梗塞巣の範囲・深達度診断が予定されている方。

予定登録数と研究機関

<参加施設>

愛媛大学、熊本大学、慶應義塾大学

東京女子医科大学、東北大学大

<予定症例数>

各施設 25 症例ずつ、計 125 症例

【個人情報の取り扱い】

- ・研究結果は、学会・学術雑誌等を通じて発表する場合がありますが、その際、患者様の名前・住所など個人を特定できるような情報は一切含まれません。

【本研究への参加と撤回の自由】

- ・本研究のための患者様への費用の負担はありません。
また、研究の対象となる患者様への謝金もありません。
- ・本研究への参加は、患者様の意思で決めますが、たとえ参加を拒否されても患者様への不利益は生じません。また同意された後でもそれを撤回することができ、それによって不利益を被ることも一切ありません。

【お問い合わせ先】

研究担当者：熊本大学医学部附属病院 宇都宮 大輔

住所：熊本市中央区本荘 1 丁目 1 - 1 電話：096-373-5261